

県議会野党きょう提案

「自衛隊差別を許さない決議案」

中立2会派の動き焦点

県議会の野党会派「自民・無所属」(座波一党派長)は1日、「自衛隊員であることを理由とする職業差別を許さない決議案」を文教厚生委員会(新垣新委員長)に提案する。与党4会派は反対方針を確認した。8日の最終本会議で採決される見込みで、中立2会派の対応が焦点となる。

決議案は、陸上自衛隊の「沖縄全島エイサーまつり」出演を巡り、市民団体がやめるよう要請したことを受け、自民・無所属が検討していた。

関係者によると、中立の「公明」「無所属」会派内では意見がまとまっていなかった。退席した場合

30日の文厚委で喜友名智子氏(おきなわ新風)は「(出演中止要請と)職業差別は結びつかない」と指摘。西銘純恵氏(共産)は「今の決議案の中には(文厚委所管の)条例が盛り込まれていない」とし、審議することに疑問を呈した。

一方、与党4会派は中谷元・防衛相が自衛隊の活動に対して県内で起きた市民団体の抗議活動などについて「過度な抗議、妨害行為が続いている」などと発言したことについて、撤回や謝罪を求める意見書を1日に提案する方針を確認した。総務企画委員会でも審議される見込み。

(政経部・又吉俊充)